



地球環境問題と自然エネルギーを考える市民講座

私たちの住む地球環境は、未来の子供たちから借りている、たった1つのかげがいのないものです。汚したり壊したりせずに、返すことができるでしょうか。

「自然エネルギーネットまつもと」は、自然エネルギー信州ネットと連携し、松本地域の特性を活かしたエネルギーとは何か、持続可能な社会とはどのようなものかを考え、自然エネルギーの普及、持続可能な社会の構築のために自然エネルギーを活かす取り組みを推進しています。

取り組みの一環として、市民の皆さんと一緒に環境やエネルギーを学ぶ連続講座を開講します。

回	日時/場所	テーマ	講師等
1	2012年12月16日(日) 14:00~16:30 松本市中央公民館 (Mウイング)	地球温暖化問題 自然エネルギーと小水力発電	宮沢 信 (長野県地球温暖化防止推進員) 月岡 通孝 (信州松本アルプスの風代表理事)
2	2013年1月20日(日) 14:00~16:30 塩尻市えんぱーく	原発とエネルギー問題 太陽光発電とドイツの自然エネルギー事情	平島 安人 (自然エネルギーネットまつもと代表) 手塚 翼 (信州松本アルプスの風)
3	2013年2月17日(日) 14:00~16:30 安曇野市豊科交流学習センターきぼう	砂防ダムと小水力発電 バイオマス(生物資源)	田口 康夫 (溪流保護ネットワーク・砂防ダムを考える代表) 佐藤 嘉一 (長野県地球温暖化防止推進員)

入場無料、申し込み不要です。1回だけの参加も歓迎です。皆さんの興味ある分野がありましたら、気軽にご参加下さい。(内容は、講師の都合等で変更になる場合があります。)

主催：自然エネルギーネットまつもと(長野県元気づくり支援金事業)
後援：松本市、塩尻市、安曇野市、自然エネルギー信州ネット、長野県(予定)

★ 内容の概要 ★

<地球温暖化問題> 石炭・石油等の化石燃料の大量消費は、大気中の二酸化炭素を激増させ、短期間の急激な気候変動を引き起こし、様々な地球環境問題の原因となっています。地球温暖化対策は、世界が一丸となって進める必要があり、毎年、国際会議が開催されています。

<エネルギー問題> 化石燃料のエネルギーに依存している私たちの生活を考えると、地球温暖化問題はエネルギー問題と言えます。福島原発事故によって、あらためて、エネルギーの将来のありかたが問われています。

<自然エネルギー(再生可能エネルギー)> 化石燃料は1回限りのエネルギーで、永続することはできませんし、地球環境を汚していきます。一方の自然エネルギー(再生可能エネルギー)は、自然に由来し、持続するエネルギーで、太陽熱、太陽光、水力、地熱、風力、バイオマス等、いろいろな形があり、大きな可能性を持っています。

<環境と自然エネルギーとの関わり> 自然エネルギーは、化石燃料のように二酸化炭素を増加させることはありませんが、多かれ少なかれ環境への影響があります。環境への配慮を考えながら、自然エネルギーの普及を進める必要性の事例として、砂防ダムの問題を紹介します。

問い合わせ先：自然エネルギーネット松本)市民講座担当)宮沢(TEL0263-57-5680)

